



2023年3月期第3四半期 決算説明資料

2023年2月10日

証券コード：5162

サマリー

- 2023年3月期第3四半期は、自動車向けのASA COLOR LEDが、半導体不足など部材調達難の影響を受けて売上減となったが、医療用ゴム製品や卓球ラケット用ラバーの受注が大きく増加したことで増収となった。
- エネルギーコストの上昇と営業活動の販売力と技術サービス力向上を推進する人員強化による販管費の増加により販管費が上昇したことから、営業利益は減益となった。
- 第4四半期は、半導体不足による自動車生産が低迷していることから、自動車用ゴム製品の受注が低下する見通しのため、2023年3月期通期業績予想を下方修正する。

2023年3月期第3四半期決算説明資料 目次

1. 連結決算実績	3
2. 中期事業分野別実績と通期予測	4
3. 主要製品実績と通期予想	5~8
4. 経営方針・経営戦略	9
5. 連結決算見通し（前年比）	10
6. 連結決算見通し（修正内容）	11
7. 連結設備投資実績と計画	12
8. 配当計画	13

1. 連結第3四半期決算実績（前年同期比）

（単位：百万円、％）

	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	5,279	100.0	5,470	100.0	3.6
売上総利益	1,293	24.5	1,365	25.0	5.5
営業利益	258	4.9	212	3.9	▲18.1
経常利益	263	5.0	218	4.0	▲17.2
四半期純利益	201	3.8	171	3.1	▲15.2

- 医療用ゴム製品と卓球ラケット用ラバーの受注が好調で増収。
- エネルギーコストの増加、営業活動の販売力と技術サービス力向上を推進した人員強化による販管費増加により営業利益は減益。

（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
工業用ゴム事業	4,395	83.2	4,408	80.6	0.3
医療・衛生用ゴム事業	884	16.8	1,062	19.4	20.2
売上高	5,279	100.0	5,470	100.0	3.6

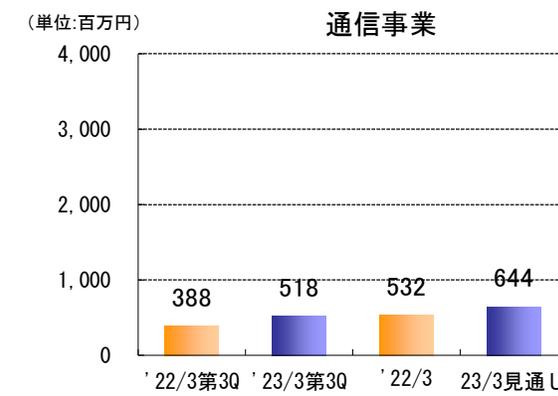
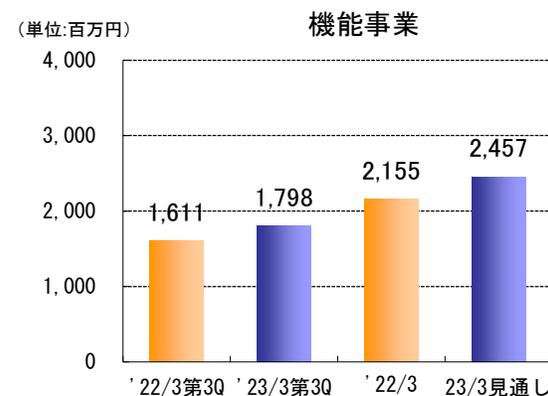
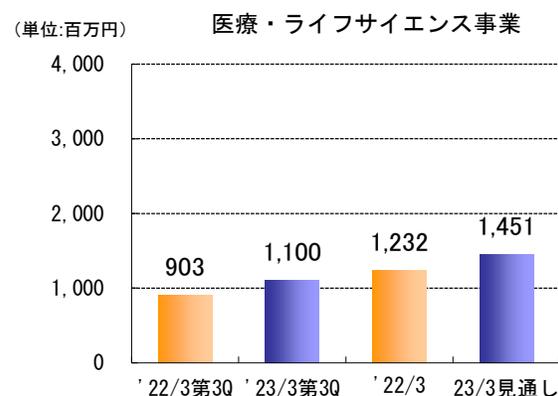
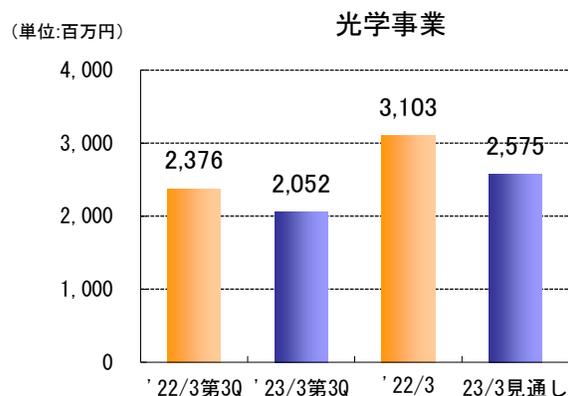
（単位：百万円、％）

地域別	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		前年同期 増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
国内売上高	4,003	75.8	4,115	75.2	2.8
海外売上高	1,276	24.2	1,355	24.8	6.2
アジア	1,179	22.4	1,258	23.0	6.7
北米	86	1.6	88	1.6	2.6
ヨーロッパ	10	0.2	8	0.2	▲15.3
売上高	5,279	100.0	5,470	100.0	3.6

2. 中期事業分野別実績と通期予測

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期			2022年3月期 通期実績		2023年3月期通期予測		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期 増減率	実績	構成比	見通し	構成比	前期 増減率
光学事業	2,376	45.0	2,052	37.5	▲13.6	3,103	44.2	2,575	36.1	▲17.0
医療・ライフサイエンス事業	903	17.1	1,100	20.1	21.9	1,232	17.6	1,451	20.4	17.8
機能事業	1,611	30.5	1,798	32.9	11.6	2,155	30.7	2,457	34.5	14.0
通信事業	388	7.3	518	9.5	33.6	532	7.6	644	9.0	21.1
売上高合計	5,279	100.0	5,470	100.0	3.6	7,024	100.0	7,127	100.0	1.5



●半導体不足による自動車生産減少の影響によるASA COLOR LEDの受注減は第4四半期まで継続する見通し。

●一部製品の在庫調整の影響が解消し、他の製品の受注も増加傾向。

●自動車スイッチ用ラバーの受注回復と卓球ラケット用ラバーの受注が堅調に推移。

●RFIDタグ用ゴム製品の顧客の生産調整が戻りつつあるものの第4四半期に再調整。

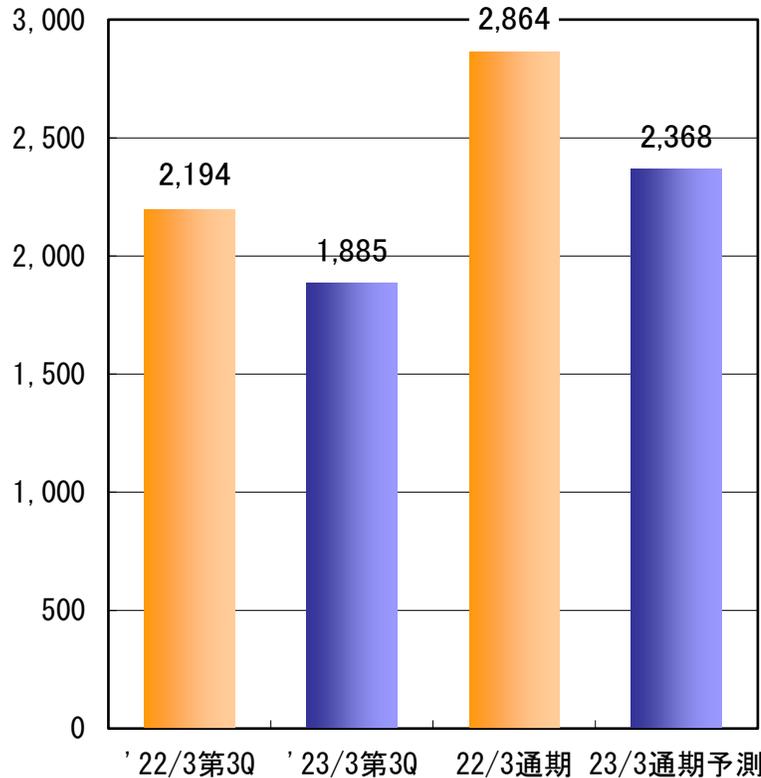
3-1. 主要製品実績と通期予測 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

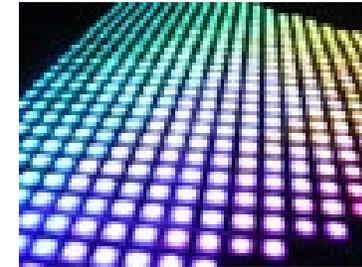
(単位:百万円)

連結売上高推移



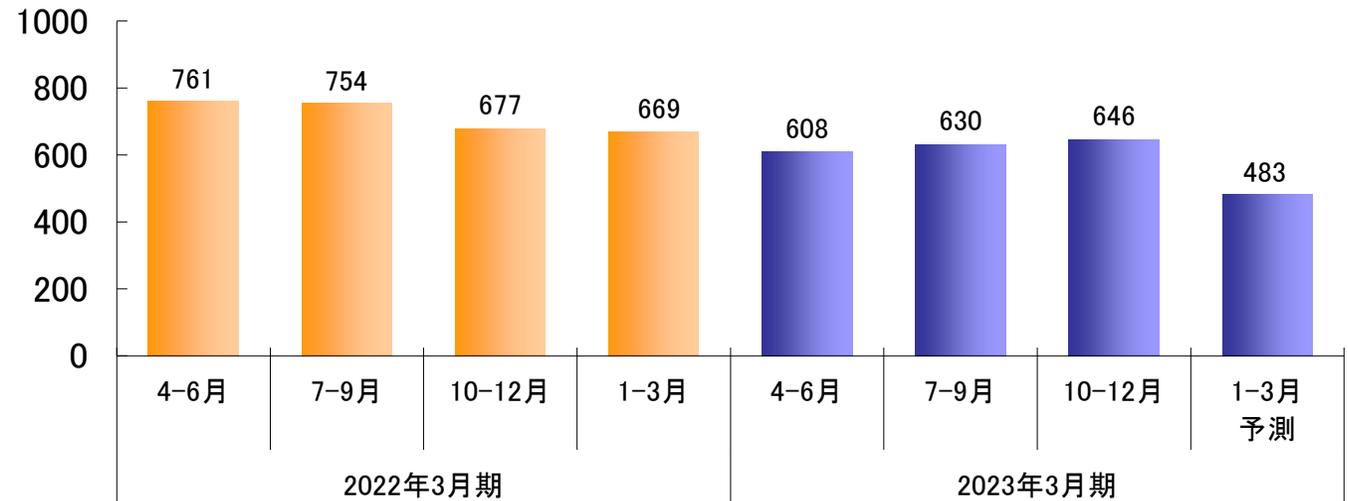
ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



(単位:百万円)

四半期会計期間の売上高推移



●今期前半の中国のロックダウンや半導体不足による受注減の影響は、ある程度底打ちしつつあったが、自動車生産の回復は第4四半期も見通せず、先行きは不透明で一部タイプの受注が減少。

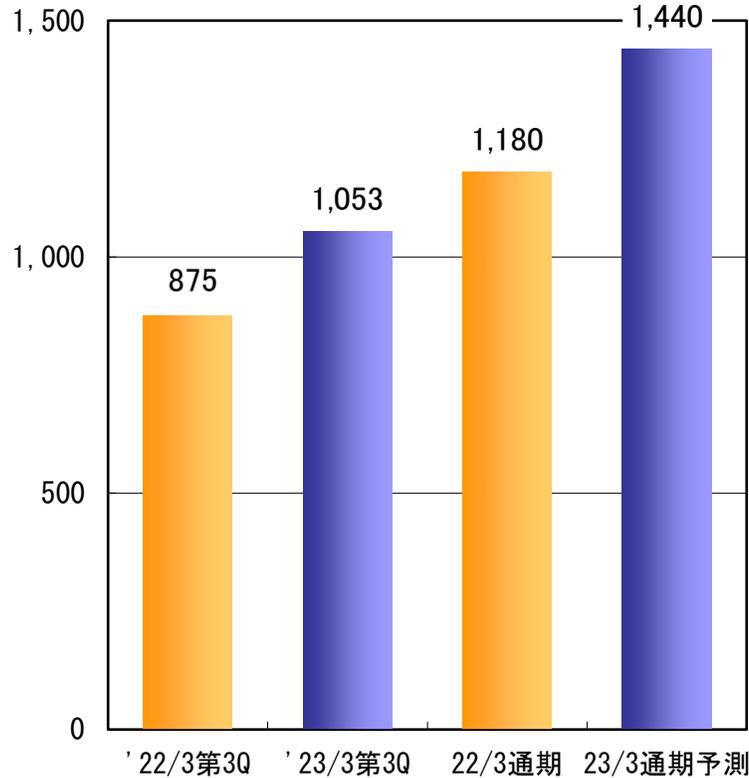
3-2. 主要製品実績と通期予測 – 医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円)

連結売上高推移



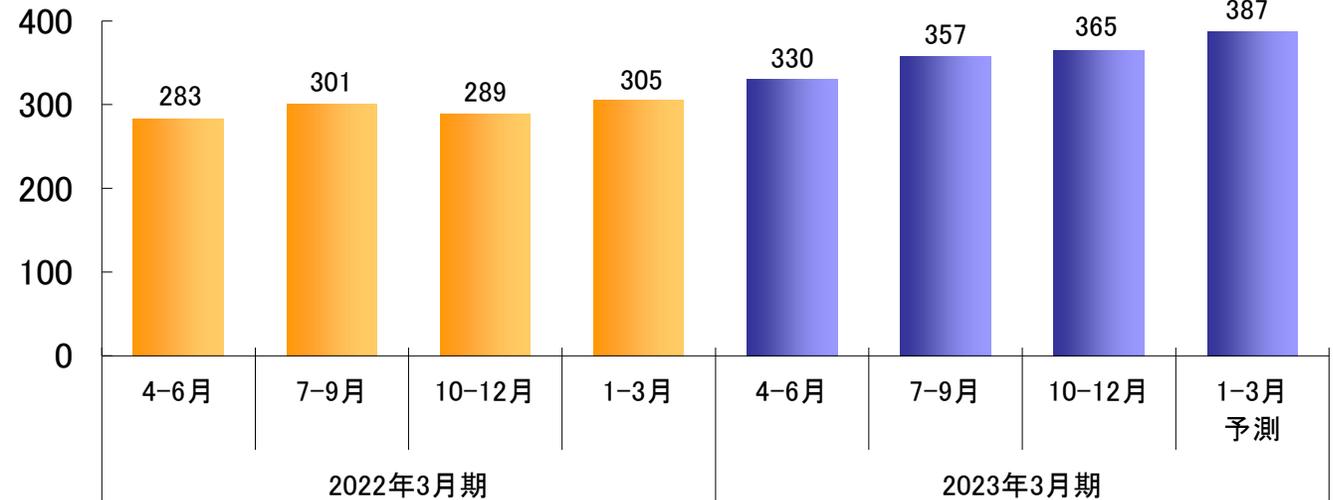
ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)

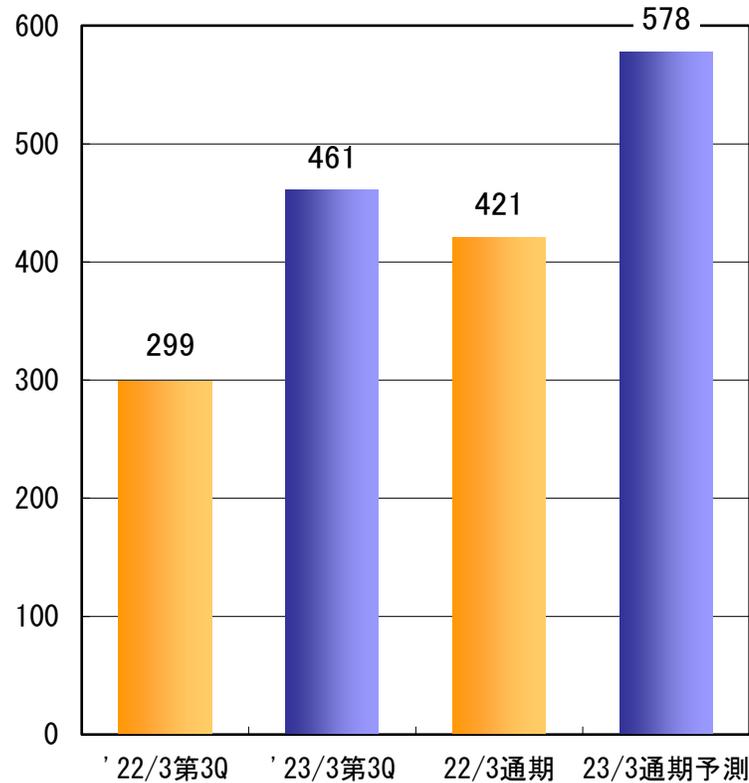


- 今期より、一部製品の在庫調整が終息したため、売上高の回復傾向が鮮明となる。
- 第3四半期に引き続き、第4四半期見通しも四半期会計期間で過去最高を更新する見通し。

3-3. 主要製品実績と通期予測 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業 機能事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

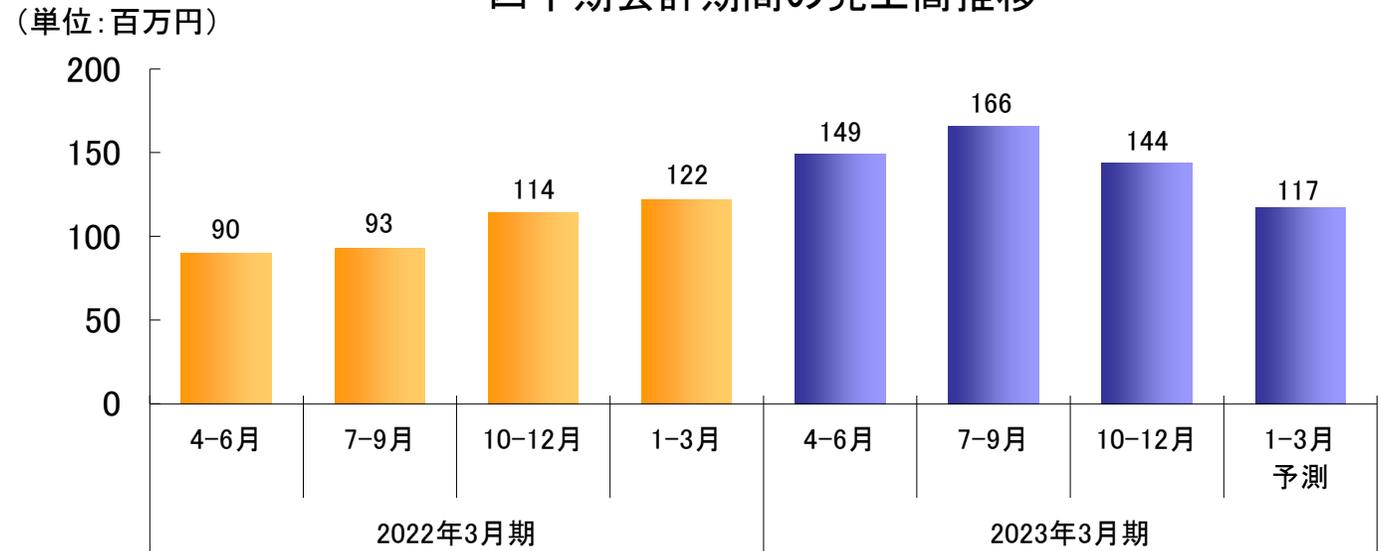


卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



四半期会計期間の売上高推移



- 競技再開と円安による顧客の海外市場での競争優位性向上から受注は増加傾向。
- 第2四半期に比べて第4四半期にかけて売上高は減少する見通しだが、生産体制拡張準備のための一時的な要因による。

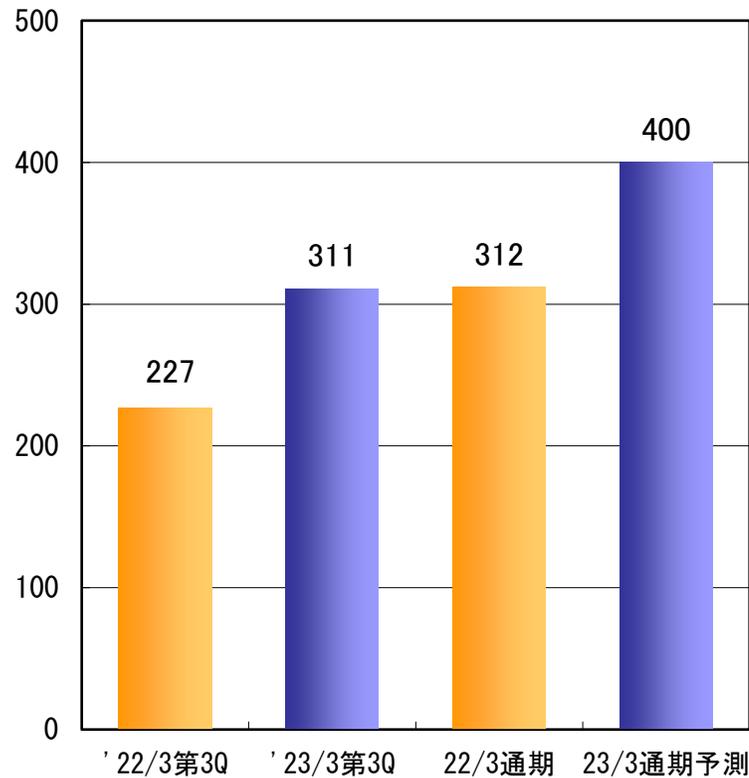
3-4. 主要製品実績と通期予測 – RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

(単位:百万円)

連結売上高推移



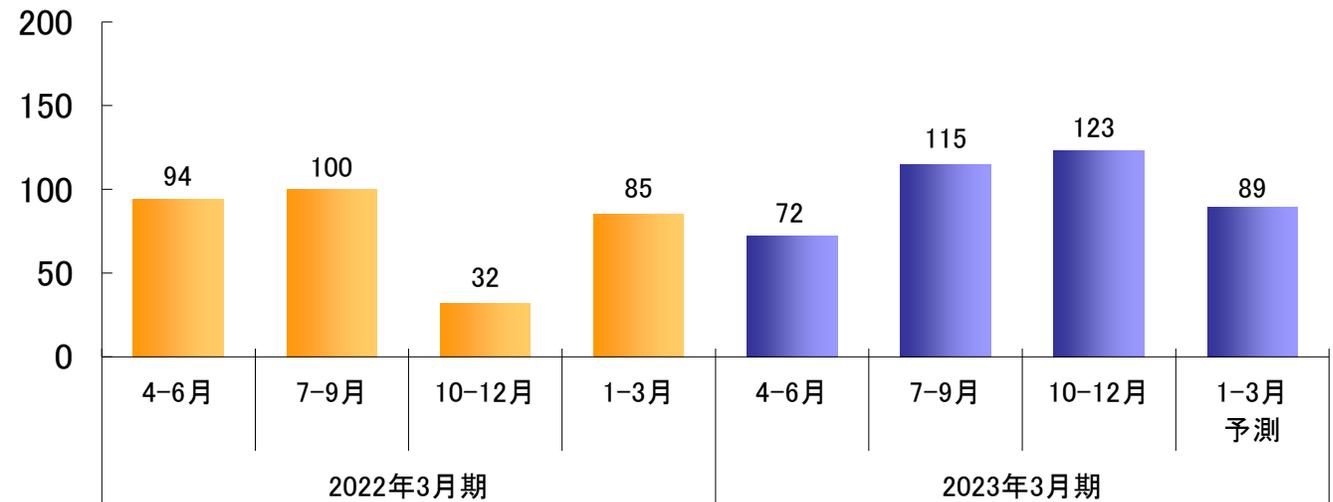
RFIDタグ用ゴム製品

溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



●最終ユーザーの北米市場において、7月以降、市場回復から受注が増加したが、第4四半期で再び在庫調整がある見通しで、先行きの不透明感は変わらない。

経営方針

みんなにうれしさをお届けしよう

経営戦略

魅力を高めて出口をつかむ

ーデザイン思考で創造的解決を実践するー

スローガン

“動”

5. 2023年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

	2022年3月期		2023年3月期					
	実績	構成比	2月10日修正見通し			11月11日時点見通し		
			見通し	構成比	前期増減率	見通し	構成比	前期増減率
売上高	7,024	100.0	7,127	100.0	1.5	7,454	100.0	6.1
売上総利益	1,691	24.1	1,742	24.4	3.0	1,781	23.9	5.3
営業利益	291	4.1	185	2.6	▲36.5	255	3.4	▲12.5
経常利益	313	4.5	190	2.7	▲39.3	251	3.4	▲19.8
当期純利益	238	3.4	147	2.1	▲38.3	187	2.5	▲21.6

- 前回見通しに比べて第4四半期の自動車用ゴム製品の受注減少が影響し、売上高、利益指標とも下方修正する。

（単位：百万円、％）

セグメント別	2022年3月期		2023年3月期					
	実績	構成比	2月10日修正見通し			11月11日時点見通し		
			見通し	構成比	前期増減率	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,830	83.0	5,710	80.1	▲2.1	6,180	82.9	6.0
医療・衛生用ゴム事業	1,193	17.0	1,417	19.9	18.8	1,274	17.1	6.7
売上高	7,024	100.0	7,127	100.0	1.5	7,454	100.0	6.1

6. 2023年3月期連結決算見通し（修正内容）

前回予測比

（単位：百万円、％）

	11月11日時点		2月10日時点		
	計画	構成比	見通し	構成比	前回予測増減率
売上高	7,454	100.0	7,127	100.0	▲4.4
売上総利益	1,781	23.9	1,742	24.4	▲2.2
営業利益	255	3.4	185	2.6	▲27.5
経常利益	251	3.4	190	2.7	▲24.3
当期純利益	187	2.5	147	2.1	▲21.4

上期・下期比

（単位：百万円、％）

	上期		下期		
	実績	構成比	見通し	構成比	4月～9月累計増減率
売上高	3,578	100.0	3,548	100.0	▲0.8
売上総利益	885	24.8	856	24.1	▲3.4
営業利益	135	3.8	49	1.4	▲63.2
経常利益	143	4.0	46	1.3	▲67.9
当期純利益	112	3.2	34	1.0	▲69.7

- 2022年12月からのエネルギーコスト高騰の影響から、下期は上期に比べて利益率が悪化。
- 価格転嫁交渉と、より一層の生産現場でのエネルギーコスト削減を進める。

7. 連結設備投資実績と計画

(単位:百万円)

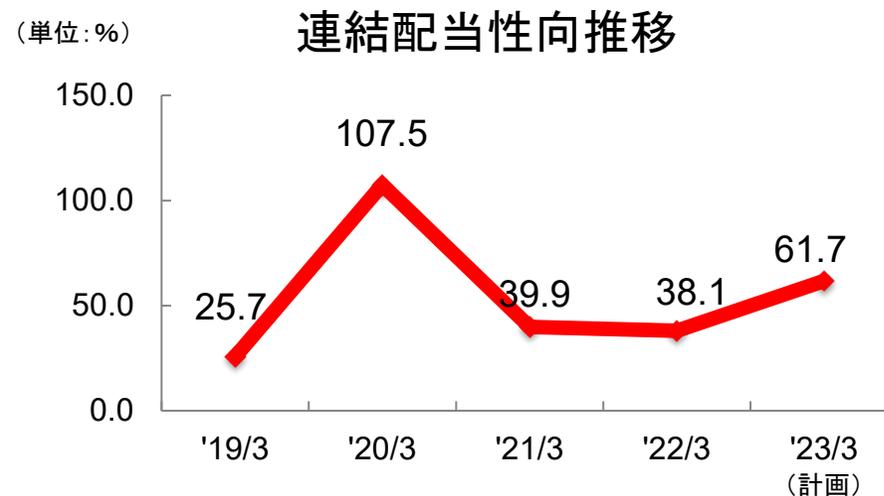
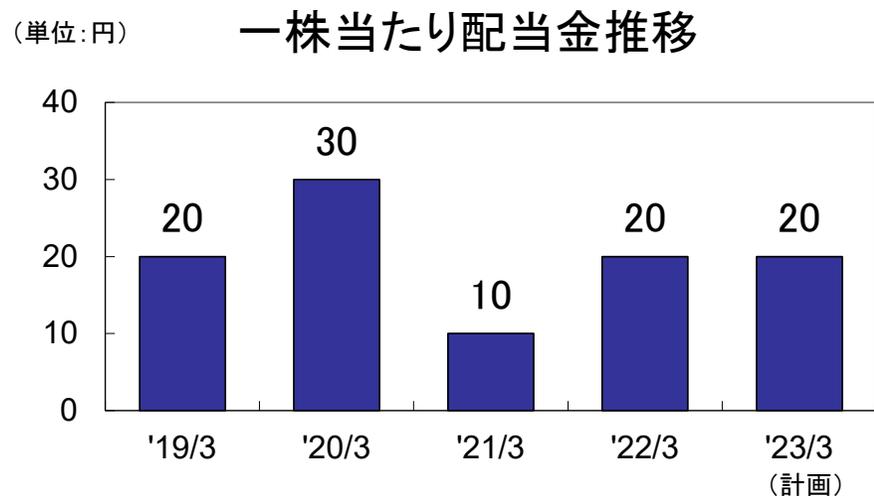
	2023年3月期 第3四半期	2023年3月期 通期計画	主な内容
光学事業	17	60	LED生産設備効率化、透明レンズの生産設備など
医療・ライフサイエンス事業	68	70	回路製品の生産設備導入など
機能事業	134	195	自動車向けゴム製品生産設備導入など
通信事業	16	35	RFIDタグ用ゴム製品生産設備改良など
その他	12	20	
合計	248	380	
(減価償却費)	(309)	(415)	

●受注予測を踏まえて通期設備投資内容を調整。(11/11時点560百万円を計画)

8. 2023年3月期配当計画

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
中間配当	10円	10円	—	10円	10円
期末配当	10円	20円※	10円	10円	10円 (計画)
年間	20円	30円	10円	20円	20円 (計画)

※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施



● 中間配当、期末配当とも一株当たり10円を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056